

令和元年度 第1回香取市子ども・子育て会議 会議録

【日時】 令和元年7月2日（火） 14:00～

【場所】 香取市役所 5階 大会議室

【出席者】 圓藤委員（会長）、山本委員、猪田委員、潮田委員、平塚委員、日下部委員、藤木委員、勝田委員、田中委員、島崎委員、森田委員、小堀委員、齋藤委員

（欠席：小林委員（副会長）、岩瀬委員）

事務局：子育て支援課、学校教育課

（株）ワイズマンコンサルティングさいたま支店

1. 開会
2. 諮問・挨拶
3. 協議事項

（1）第2期香取市子ども・子育て支援事業計画の骨子案について

事務局：資料1 香取市子ども・子育て支援事業計画（第2期）策定について

資料2 香取市子ども・子育て会議について

資料3 アンケート調査概要について

資料4 ニーズ調査結果によるニーズ量の算出について

資料5 第2期香取市子ども・子育て支援事業計画の骨子案について

圓藤会長：ここ数年、発達障害とまでは言えないが、活動や生活習慣など、気になる子どもが増えてきているように感じます。統計をとっている訳ではないので感覚的なものですが、具体的に言うと「言葉の発達が遅れている」「生活上の多動」等、落ち着きがない子どもが多く目につきます。また、もう一つ心配していることとして、子育てを学ぶ機会がないまま親になる人が多く、相談やアドバイスを出来る場所もないままで子育てをしていかなければならない現状があります。そのような保護者に対して、具体的に子育てを学べる場について充実させていただくとともに市の現状を教えていただきたいと思います。

事務局：今年度、子育て世代包括支援センターを立ち上げ、発達の気になる子の相談等が多くなっていることを認識しています。また、子育てを学ぶ機会がないまま親になる人が多いとのことですが、次世代育成支援行動計画内の事業の中で、親の支援として、妊婦や周産期のいる家族を対象にパパママ教室を実施しています。健康づくり課が所管のため、今後、担当課と連携して事業の拡充などを検討したいと考えています。

圓藤会長：気になる子の中には、親が子どもの育て方を知らないために生活習慣が乱れ、夜

遅くまで起きていて朝起きられない子どもの状態が、保育園での行動に現われているように見受けられます。もう一つ心配なのは愛着といいますか、小さいころからしっかりとした親子関係を結ぶというのは子どもが育つうえで基本になってくるのですが、親子同士でも愛着というのが形成されていないように思います。パパママ教室は平日の開催で、母親だけが参加する機会が多いと思われるので、父母と一緒に参加し、愛着を深められるような機会を増えることを望みます。

事務局：おっしゃるとおり、赤ちゃんに触れ合う機会がないまま出産を迎える人が増えてきていると思います。今までは、母子手帳を各支所や保健センターで交付していましたが、今年度から集約して子育て世代包括支援センターにて母子手帳を交付しています。交付の際には、助産師や保健師が必ず面接をして妊娠中の心構えや親になっていく上でのお話などをさせていただき、その後、妊娠28週目(8ヶ月)以降には再連絡し、体の様子を含めて再相談をさせていただき予定です。相談内容としましては、今後の子育てに関して不安のある方が多いので、様々な相談できる場所を紹介するとともに、父母揃って来て下さる方も多いので、父親のためになるようなお話もさせていただき、パパママ教室に関してもおすすめしています。パパママ教室については父親の参加も増えており、沐浴や妊婦体験なども行っています。発達相談については、親の接し方で子どもの成長が変わることも多いため、各種相談などにつながるようにしています。パパママ教室については、父母と一緒に参加できるように子育て支援課、健康づくり課と協議して事業実施日等の調整を検討していきたいと思います。

潮田委員：私は16年間放課後児童クラブを運営しており、市内小学校8校からの児童を受け持っていますが、どの小学校も1年生でも国語と算数の宿題が毎日のようにあり、今年は特に「ひらがなが読めない」「簡単な足し算ができない」などの子どもが多くなっています。ここにあるように切れ目のない支援が必要ですが、このような状況を相談できる場がなく、児童クラブではどうしようもない状況で、親御さんもお子さんの状況をどの程度把握しているのかも心配になります。また、入学して三か月が経過し、学校はどのような教育をしているのか疑問で、預かっている身としては非常に悩んでおります。

事務局：気になる子への対応ですが、就学前児童については、各保育所等の巡回相談を実施しており、そこで得た情報を入学後に引き継いで、相談等の要望があれば受けつけています。また、入学後も引き続き巡回相談を行い、各学校には特別教育支援員を今年度は42名配置しています。保護者との連携という点では、特別支援学級のお子さん全てと、通常学級のお子さんでも必要な場合には特別教育支援計画を立て、保護者にも説明し、ともに考え、計画支援を長いスパンで行っていくようにしています。学校教育課としましても、気になる子が増加している状況を認識しておりますので、更に強化をして対応していきたいと考えております。

勝田委員：資料5 P4(3) 支援が必要な子育て家庭等と子どもへの取組で項目を立てていますが、さきほど話が出ていた障害までとはいかない子どもへの支援についての対応など、障がいのあるなしで考えているから施策の難しさを感じられました。あと、P2(2) 地域子ども・子育て支援事業の充実が13事業に縛られるかどうかも分からないままの発言になりますが、②放課後児童健全育成事業が放課後児童クラブに限定されているのですが、本校では2分の1を超える方が利用している障がいのある方にとっての放課後等デイサービスは含まれますか。また、障がいのあるなしに関することだと、困った時の相談先として、「わんわん」「にゃんにゃん」「どんぐり」などありますが、児童発達支援という福祉サービスもあります。香取市の中ではコスモスの花さんがありますが、児童発達支援事業はこの中に入らないのでしょうか。また、障がい限定となりますが、医療的ケア児検討委員会も国があげている施策の中には入っていると思いますが、香取地域の医療的ケア児についてもどこかに入れていただけたらと思います。また、障がいと言うくくりではなく、あくまでも医療的ケアと言うのがあったらどうかと思います。本校にも香取市内居住の医療的ケアが必要なお子さんが数名来ていますが、今、国内等で話題になっているのが、「元気に走り回れる医療的ケア児」「知的にも高いけど医療ケアは必要」「酸素吸入器を持って自分で動ける子たちの地域の受入」など私が把握している中では香取市内にそのような方は耳にしていますが、ただ医療の進歩に伴い、知的に高い体も動かせる医療的ケア児の受入等も医療的ケアの検討委員会でもんでいかなければいけないことだと思っています。なので、子ども子育てという点では触れていただけたらと思いました。

圓藤会長：私もどこまでを計画の中に取り上げて記載されるのか、障がいなど色々な分野がありますし、どこまでの範囲で計画が作成されるのかお聞きしたいと思います。

事務局：P2(2)②に関して、放課後児童クラブ限定なのかと言う点ですが、現状では学校に行かれた後、児童クラブで過ごすという放課後児童クラブになっています。発達障害に至っていない気になる子については、P4(3)②の書き方について検討していきたいと思います。

圓藤会長：今後無償化が行われますが、療育支援などを受けている就学前のお子さんの対応はどのように考えていますか。

事務局：社会福祉課で対応している内容となりますので、制度改革に合わせて対応を検討していきたいと思います。

圓藤会長：今後、制度改革により有償無償の話が色々な分野で起こってくると思います。発達の様子を見てもらうにしても、有償無償の話は保護者にとって大きい問題であることと、支援を受けやすくなるということも最低限必要なことだと思っています。計画作成中での制度改革があり、子どもに対する制度もたくさん変わるとは思いますが、気になる子や障がいのある子に対しても、市の方で対応策の検討をよろし

くお願いします。

事務局：担当課や支援事業者などと連携して考えていきたいと思えます。

平塚委員：アンケート調査結果の反映について、資料3 P3(2) 認定こども園が今後利用したい施設として挙がっています。今、佐原の認定子ども園の建設予定が進んでいると聞いてますが、早い開設を望んでいます。P4(4)については、子育てしやすいまちだと思わない理由として、「子どもの遊び場が少ない」、「保育サービスが不足している」の意見が多くなっているが、この対応としてどのように事業計画の中に反映していくのでしょうか。

事務局：子どもの遊び場が少ないという点では、現在、佐原駅周辺地区複合公共施設について基本設計が見直しとなっておりますが、その中に児童館的機能を持つ子どもの遊び場が入る予定となっております。その他、市内には都市公園や児童遊園もあり子どもが少ない現状からニーズも少なくなっていますが、今ある児童館等とあわせ情報を拡散していきたいと思えます。また、施設が少ないと言ってもすぐに新たな物を作ることは現状からはむずかしいので、今ある施設の拡充を検討していきたいと思えます。保育サービスの不足については、放課後児童クラブを年々整備していますが整備に追いつかない状況で、平成26年の11ヶ所から16ヶ所に増やしても待機児童が多くなってきている状況であります。そういった面から保育サービスに不満が出ているように感じております。

圓藤会長：子ども・子育て支援に関するアンケート調査報告書 P41 宛名のお子さんの一時預かりについてで「利用していない」が87.9%で、P42では「特に利用する必要がない」が73.3%ですが、「事業の利用方法がわからない」「利用対象かどうかわからない」「利用料がわからない」「利用料がかかる・高い」も数字としては少ないが、かなりの数、上がってきています。緊急時にお子さんを預けたいなど色々な利用形態があると思えますが、利用する率が低いのはサービス提供側がまだ整っていない、情報提供が出来ていないなど、それらについてはどのように考えていますか。

事務局：サービスの周知について、情報が行き届いていないように感じております。ただ、冠婚葬祭などや一時的に預けたい時などは、一時預かりで対応しております。ファミリーサポートセンターについては、まだこの地域ではなかなか定着していないかと思いますが、それをどこに相談してよいのかわからないのは周知が足りないためでありますので、今後、情報を多く発信していきたいと考えております。

圓藤会長：色々細かい制度を発信していくのは難しいですが、利用者もどんどん新しい世代に代わっていき、情報の受け取り方も変わってきているため、常に情報を発信していくことが必要だと思えます。また、急な一時預かりのニーズは低年齢のお子さんがある家庭が多いと思えますが、なかなか情報が伝わっていないのが現状と思えますので、市からの発信を色々行っていただきたいです。それとあ

わせ今後、3歳以上児の無償化も始まりますので、その制度についても多くの利用者に伝わるよう発信していただけたらと思います。

勝田委員：資料5第4章の2 放課後子ども総合プランに基づく取組の中に「すべての児童が」という文言があり、先程言いました、放課後等デイサービスが入っておらず、すべての児童の中には、障がいのある子どもが含まれていないようなニュアンスにとられるかなと感じます。こうした文言には、障がいのあるお子さんをお持ちの保護者で傷つく方も多いです。ここには、放課後子ども総合プランに基づく放課後等デイサービスを入れられないか、また、「すべての児童」という文言を訂正することで活かすのかご検討いただけたらと思います。

事務局：国から示されている放課後子ども総合プランに基づく取組と言うことで、標記等変更が出来るのか、担当課、支援事業者と協議の上、検討させていただきます。

齋藤委員：量の見込みに関して、ニーズ調査をもとに計画すると思いますが、平成30年11月の段階では無償化について知っていた保護者は少ないと思われ、無償であれば必ず増加すると考えられるので、無償化の影響による増加分についても加味して計画を立てる必要があると思います。

事務局：当然、無償化については加味して計画を策定して行くべきだと思いますが、無償化が10月でございまして、計画も進んでいくことから、時期の問題にもよりますが、どこまで反映させられるか今後進めていく上で検討させていただきます。

圓藤会長：無償化に関して、4～5歳児については、ほぼ保育所等などに9割以上入所しているため、さほど影響がないように感じます。しかし、きちんとした数字は持っていませんが、全国的な数字でみると3歳児のうち、5%くらいが保育所等に入りたいという希望があり、無償ということになれば、当然どこかに入りたいと思うので、数パーセントの影響があると感じられますが、その辺りはどうでしょうか。

事務局：香取市の3歳児は431名で、そのうち377名が市内の保育所等を利用しています。その差の54名がどこにも通っていないだろうと思われそうですが、この方たちがどの程度入所するのかと考えますと、両親の就労状況によって認定が変わりますが、就労せず入所となれば1号認定が増える可能性があるだろうと第1に考えております。状況によっては、現在1号の方がもう少し働きたいという希望が多くなれば、2号認定に移るという状況もあるのかなと考えています。

圓藤会長：ぜひ、無償化によって変わってくる状況も計画に盛り込んでいただけたらと思います。

事務局：本日いただいたご意見については、担当課や支援事業者とどのように計画に盛り込んでいくのか検討したいと思います。また、短い時間の中でご意見いただけなかった部分等あると思いますので、別紙により郵送やFAXでご意見をいただけたらと思います。

(2) 基本理念について

事務局：資料6 第2期香取市子ども・子育て支援事業計画【基本理念】について説明

圓藤会長：基本理念については、まだ計画が完結した訳ではないので、このまま継承していくべきだろうと思います。また、地域社会で子育てを支えていくことが非常に大切になっていくので、この基本理念を継続していただきたいなと思います。今後、会議の中で、基本理念の検討より、計画の内容などに多く時間を持った方が良いのではないかと私は思っております。皆様はどうでしょうか。現在の基本理念に香取をつけるので良いでしょうか。

委員：異議なし

《基本理念について》 承認

4. その他

事務局：今後のスケジュールに関して

5. 閉会